

◆2017年6月1日より検査内容が変更になりました。◆

薬物検査

■ 薬物検査

薬物が適切に投与されているか、または投与量が適切かを確認する検査です。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
ゾニサミド (ZNS)	EDTA血漿 ヘパリン血漿 0.2mL	冷蔵 冷凍	7日以内	LA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血中濃度の測定は、反復投与開始の5日目以後に行ってください。 投与量を変更した場合も同様です。 血中濃度は5日間の反復投与で定常状態に達します。 2. 反復投与5日目以降の採血は、投与後8～16時間の間に行うことが大切です。 それ以外の場合は正確な血中濃度の評価ができません。 3. 強く溶血したサンプルでは実際の値よりも1.5～2倍程度の高い値を示す可能性があります。 4. 肝臓の代謝酵素を誘導する薬や阻害する薬を併用されている場合には、ゾニサミドの血中濃度に影響します。 5. 血清分離剤を用いた血清では、実際の値より低い値を示す可能性があります。
フェノバルビタール (PB)	EDTA血漿 ヘパリン血漿 0.2mL	冷蔵 冷凍	7日以内	LA	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血中濃度の測定は、反復投与開始の10日目以降に行ってください。 投与量を変更した場合も同様です。 なお、血中濃度は7～10日間の反復投与で定常状態に達します。 2. 反復投与10日目以降の採血は、投薬前に行ってください。 なお、採血後には忘れず投薬してください。 3. 肝臓の代謝酵素を誘導するので、他の薬の血中濃度に影響します。 4. 血清分離剤を用いた血清では、実際の値より低い値を示す可能性があります。

LA : Latex Agglutination

- ゾニサミド、フェノバルビタールの検体送付先が変更になりました。→横浜ラボにお送りください
- ゾニサミド、フェノバルビタールの送付方法が変更になりました。→冷蔵または冷凍でお送りください
- ▲ 臭化カリウムは2017年5月24日をもちまして検査受託を終了いたしました。
- ▲ ゾニサミドとフェノバルビタールを同時に依頼された際のセット割引は、2017年5月31日をもちまして終了いたしました。